

海老名市立図書館及び
門沢橋コミュニティセンター
指定管理者選定委員会 選定結果報告書

平成30年10月
教育部 学び支援課
市民協働部 地域づくり課

海老名市立図書館は、平成 26 年度から、「情報拠点施設」「生涯学習拠点施設」「新たな付加価値提供施設」をめざし、指定管理者制度による管理運営を実施してまいりました。

その結果、様々な魅力あるサービスが提供され、利用者数や貸出者数、貸出冊数も増加するとともに、利用者からは高い評価をいただいています。また、図書司書の派遣により、学校図書館の貸出冊数が大幅に増加するなど、大きな効果が認められています。

このような成果等をふまえ、『ひろがる・つながる・みんなの図書館～「学び」と「コミュニティ」の拠点へ～』を基本方針とし、海老名市立図書館の指定管理を継続することといたしました。

また、有馬図書館に併設されている門沢橋コミュニティセンターについても指定管理者制度導入が決定したことから、複合施設の利点を最大限生かすことのできる提案を求め、併せて指定管理者を募集することといたしました。

当該指定管理者につきましては、海老名市立図書館及び門沢橋コミュニティセンター指定管理者選定委員会において選定し、下記のとおり指定管理者候補者を決定しましたので報告します。

1 対象施設

中央図書館 海老名市めぐみ町 7 番地の 1
有馬図書館 海老名市門沢橋一丁目 20 番 41 号
門沢橋コミュニティセンター 海老名市門沢橋一丁目 20 番 41 号

2 募集期間

平成30年 7 月 4 日から平成30年 8 月31日まで

3 指定期間

平成31年 4 月 1 日から平成36年 3 月31日まで（5 年間）

4 選定委員会

委員長 岡田尚子 委員（教育部長）
副委員長 深澤 宏 委員（市民協働部長）
金指太一郎 委員（教育部次長 総務・社会教育担当）

江成 立夫 委員 (市民協働部次長)
藤川 浩幸 委員 (財務部次長) (※)
清田 聡 委員 (企画財政課長)
吉田 聡 委員 (管財課長)
相澤 康生 委員 (学識経験者 社会保険労務士)
雨宮 光孝 委員 (学識経験者 税理士)

(※) 人事異動により第3回選定委員会から、藤川委員に変更
第1回・第2回選定委員会は、伊藤修委員

5 応募団体

「えびな学びコンソーシアム」

代表団体 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 増田宗昭
大阪府枚方市岡東町12番2号

構成団体 株式会社図書館流通センター
代表取締役 石井昭
東京都文京区大塚三丁目1番1号

構成団体 相鉄企業株式会社
代表取締役 佐武宏
横浜市西区北幸二丁目9番14号

(設計業務のみ)

株式会社三上建築事務所
代表取締役 益子一彦
茨城県水戸市大町三丁目4番36号

6 選定（審査）基準

（第一次審査）

	審査項目	主な評価基準
1	業務実績について	1 類似施設管理運営業務実績 2 安定的な運営が可能となる財務状況 3 法令遵守意識や就業規則整備等適正な労働状況
2	図書館等について	1 責任者及び職員の配置や研修実施等、適正な執行体制 2 図書の選定体制や個人情報の取扱い等、適正な業務基準 3 レファレンス業務や学校図書館支援業務等の安定した運営 4 適正な施設維持管理業務 5 利用者意見の把握及び教育委員会との連携等
3	門沢橋コミセンについて	1 利用承認体制や備品等の管理体制 2 適正な施設維持管理業務 3 職員の配置等
4	大規模改修について	1 適正な設計業務 2 閉館時の代替サービスの提案等、閉館時対応について
5	収支予算書及び指定管理料	1 適正な収支予算書 2 前年度実績が勘案された適正な指定管理料

（第二次審査）

	審査項目	主な評価基準
1	図書館及び門沢橋コミセンのあり方に関する考え方	1 個人情報の保護等、法令遵守の意識 2 図書館基本方針に対する事業者の考え方 3 地域性を活かした複合施設としての有効活用策の提案（コミセン） 4 中央と有馬のすみわけや複合施設としての有効活用策の提案（図書館） 5 地域コミュニティを醸成するコンセプト（コミセン）
2	維持管理業務について	1 効果的なサービス、特色を生かした運営方針等（図書館） 2 地域住民の使用に係る利便性（コミセン） 3 責任者の配置、司書率等、適正な管理運営体制 4 労働条件の遵守等、適正な業務従事 5 災害時の危機管理体制

3	運營業務について	1 サービスの向上が図れる開館時間 2 適正な選書の考え方及び効率的、効果的な図書選定方法 3 レファレンス機能に対する考え方 4 利用者からの苦情、要望者等への対応体制 5 宅配サービス、学校図書館支援等現行サービスに対する充実策 6 新たなサービスの提案及び当該提案の費用対効果 7 自主事業の積極的な取り組み等、市民サービスの向上策
4	大規模改修について	1 改修前の一体的管理に関する提案 2 改修後の効率的で効果的な活用方策に関する提案 3 新機能導入に関する効果的で実現性のある提案 4 利用者が使いやすく効果的な使用ができる具体的な施設仕様 5 改修手法に関する提案の実現可能性 6 改修に係る設計についての見積額及び想定工事費 7 閉館期間中の適切な代替サービスの提案
5	収支予算及び指定管理料について	1 適正な収支予算 2 前年度実績が勘案された適正な指定管理料

7 選定経過

(1) 第1回指定管理者選定委員会

日 時 平成30年8月10日（金）13:30～15:30

場 所 海老名市役所707会議室

内 容 指定管理者候補者選定における審査基準、採点方法を決定
第一次、第二次審査とも9人の委員の点数の平均点が6割以上の
得点で通過することとした。

(2) 第2回指定管理者選定委員会 一次審査（書類審査）

日 時 平成30年9月28日（金）9:00～11:00

場 所 海老名市役所707会議室

内 容 応募者：えびな学びコンソーシアム

平均点 98.77点（150点満点）

応募者から提出された事業計画書及び収支予算書等を委員会で決定した審査基準に基づき採点し、一次審査の通過を決定

(3) 第3回指定管理者選定委員会 二次審査（プレゼンテーション審査）

日 時 平成30年10月10日（水）10：00～12：00

場 所 海老名市役所政策審議室

内 容 応募者：えびな学びコンソーシアム

平均点 139.66点（220点満点）

応募者によるプレゼンテーションと質疑応答を行い、採点の結果、えびな学びコンソーシアムを指定管理者候補者として決定

8 選定方法

「海老名市立図書館及び門沢橋コミュニティセンター指定管理者選定審査基準」に基づき審査を実施。

①各委員に事前配布した応募書類に基づき、第2回選定委員会にて書類審査を実施。

審査基準に基づき採点を実施し、一次審査の通過者を決定

②第3回選定委員会にてプレゼン及びヒアリングを実施

審査基準に基づき採点を実施し、候補者を決定

9 選定結果

指定管理者候補者

団体名 「えびな学びコンソーシアム」

代表団体 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

代表取締役社長兼 CEO 増田宗昭

大阪府枚方市岡東町12番2号

構成団体 株式会社図書館流通センター

代表取締役 石井昭

東京都文京区大塚三丁目1番1号

構成団体 相鉄企業株式会社

代表取締役 佐武宏

横浜市西区北幸二丁目9番14号

(設計業務のみ) 株式会社三上建築事務所
代表取締役 益子一彦
茨城県水戸市大町三丁目4番36号

10 選定理由

選定にあたっては、「海老名市立図書館指定管理者制度継続に係る基本方針」を基本として、審査基準に照らし検討を行いました。

また、業務履行の基本となる法令順守についても適正に守られることが確認できました。

その結果、最低基準点（6割）をクリアした、現在の指定管理者である、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（以下「CCC」という。）及び株式会社図書館流通センター（以下「TRC」という。）に、相鉄企業株式会社及び三上建築設計事務所（設計業務のみ）を加えた4者による共同事業体「えびな学びコンソーシアム」が候補者となりました。

選定理由としては、CCC及びTRCについては、過去5年間の実績に加え、民間企業のノウハウを生かした更なる魅力あるサービスの提供が期待できる点を評価しました。

また、コミュニティセンター部分においては、市内公共施設における指定管理者としての実績を踏まえ、確実な施設の維持管理と地元とのつながりや地域コミュニティの醸成が期待できる点を評価しました。

有馬図書館及び門沢橋コミュニティセンターの改修計画については、複合施設として、「学び」と「コミュニティ」の拠点となる改修提案であった点を評価しました。